

# いいたて村 裁縫教室



飯舘村

平成 31 年度 までいな手仕事 生きがづくり事業

一般財団法人飯舘までい文化事業団





## はじめに

私たちが飯舘村のお母さん達と手仕事を始めて6年が経ちました。ふるさとの汚染により村を離れざるを得なかった女性達が、心から楽しめ、集まれる場所を作りたいという想いから始まりました。手仕事をするみなさんはいつも明るく、集まって笑い合う姿は村での暮らしを感じさせます。

創作意欲に溢れ、毎回様々な手仕事にチャレンジする姿を目の当たりにすると、単なる手仕事にとどまらず、アート芸術の領域に達するものづくりとなるまで応援したいと思えてきます。

「1人でやっても続かない、楽しくない」「皆で集まるからこそ力が出てくるし、笑うことができる」

そんな場を作り、提供することが大きな役割でもあるのではないかと、この事業を通して感じたことです。各回の手仕事に参加するお母さん達の姿を通してエネルギーを感じていただけたら幸いです。

飯舘までい文化事業団







## ハワイアンキルトクッション

2019年5月13日(月)

夏に向けてハワイアンキルトクッション作りです！  
みなさん慣れた手つきで、ひと針ひと針刺していきます。  
刺し方にはそれぞれの個性が。  
柄違いで2～3つ作る方も！！  
「お友達に頼まれたのよ～」と楽しそう  
「ここも刺したほうがいいよ」など、お互いにアドバイスしながら仕上げていきます。

### スタッフの声

ひと針ひと針丁寧に針を進めていく姿、職人のようでした。  
細かい作業も楽しそうにされていてさすがお母さん達だなあと。

### 参加者の声

細かい作業で肩が凝りましたが、とても集中して物事に取り組めて、出来上がった時は達成感とうれしさでいっぱいでした。  
身近に置いて使えるものなので楽しみです。

講師：木戸 三智子 先生

いいたて村 裁縫教室





## 小物ケース

2019年6月10日(月)

メガネなども入れられるように中綿を入れ裏地をつけて仕上げ  
ていきます。

同じ型紙から作ってもなぜかお顔が作り手に似てきます。

ふしぎですね！

みなさんかわいい表情に。

### スタッフの声

今日も賑やかに笑いの耐えない回となりました。

スマートホンを入れても良さそうです。

### 参加者の声

老眼鏡入れにでも使おうかしら。今日もみんなに会えて良かったです。

講師：木戸 三智子 先生

いいたて村 裁縫教室







## アレンジメントフラワー

2019年7月1日（月）

飯舘村で育ったお花を使ってテーブルフラワーを作りました。  
今日の講師は村に移住して来た宇沢千賀子さんです。  
以前、アメリカでアレンジメントの先生をされていたそう。  
なので、お花の名前などで英語が出てきて、「え～、それ何?」「日本語だとなんていうのかな～?」なんて会話もありなごやかな教室でした。

花材も飯舘村で栽培された「かすみ草・アルストロメリア」とメンバーのお庭に咲いてるお花を採取してきたもの。  
ベースのグリーンも村のシダやヒバ、ドウダンツツジなど先生が採取してきた植物を使いました。

まず、アレンジメントフラワーの基本を教えていただき、手順に沿って活け方を見本で示しながら丁寧に教えていただき、、、さあ、みんなの番です！同じ花材でも個性を光っていました！最後に一人ひとりアドバイスをいただき、少し手直しするだけでグレードアップした仕上がりになりました。流石です！

### スタッフの声

いままでに作ったことのないテーブルフラワー。  
くるくる回しながら、上から横から見ながら仕上げていました。

### 参加者の声

家の花でもこんなに素敵に出来るなんて！  
他の花でも作ってみます。

講師：宇沢 千賀子 先生

いいたて村 裁縫教室





## ステンシル「小物入れ」作り

2019年7月29日（月）

ステンシルも回を重ねてきましたので、作業の手順はみなさんわかってきました。

まず下地を塗り乾かし、図案を決め下書きします。同じ図案の組み合わせでも、オリジナルのものができます。

はじめに黄色で染め、その上に緑や赤で色を重ねて仕上げて行きます。

みなさん暑い中集中しての作業。熱中症対策も兼ねて楽しいお茶の時間。会話も弾みつついつい時間が…

### スタッフの声

会場は冷房が効いていますが、みなさんの集中した作業で、温度が上昇？

汗をかきながらも楽しい会話も飛び交いながらも、しっかり仕上げていくみなさん。

毎回感心してしまいます。

### 参加者の声

先生の見本のように、なかなか美味しそうないちごは書けない。はみ出しちゃう事もあるけど、ご愛嬌。

講師：牛江 幸子 先生

いいたて村 裁縫教室





## トピアリーアレンジ作り

2019年8月24日(土)

村の「福祉まつり」に出品するために飯館村のお花「アルストロメリア」でトピアリーアレンジ作りをしました。

みなさん、はじめてのトピアリー作りとあって、先生の説明を真剣に聞いていました。さあ、作りましょう！

まず、アルストロメリア10本を半球になるよう花の向きをよく見て東ね、テープで巻き固定します。これが最大のポイントです。そこにリボンを結び、テープを隠します。なかなか先生のようには形になりませんでした。第2のポイント。真っ直ぐに挿す、「あれ、右に傾いた！」「挿さらない！」「え！後ろに傾いてる？」などと悪戦苦闘しましたが、足元のお花はみなさんの個性が光るアレンジが出来上がりました。

会場に飾るととても華やかで、社協の方からも「お花があると賑やかで素敵でいいですね」とお褒めいただきました。

### スタッフの声

今回のトピアリーも初めてのチャレンジ。10本束ねるだけでも個性が。村のアルストロメリアが大変身！！

### 参加者の声

大変でしたが、楽しかった。これ売れそう！

講師：宇沢 千賀子 先生

いいたて村 裁縫教室





## 布貼り丸箱作り

2019年9月9日(月)

布の柄を見て、出来上がりをイメージして、布を断ちます。  
蓋部分の厚紙に膨らみをつけるために芯を大小2枚重ねにし、  
端を縫い縮めた布で包み、  
シワにならないように被せていき、側面、底、内側と全体を布  
でシワにならないようにきれいに貼っていきました。  
「この布、どこだったっけ?」「あれ、きれいに縮まないよ?」  
「素敵にできたから、私の宝物を入れようかな」  
みんなで確認しながら、楽しく和気あいあいと作品を仕上げま  
した。

### スタッフの声

着物の柄をあれこれ選んでいる時がとても楽しそう。布をシワ  
にならないように貼るのに苦労してました。

### 参加者の声

思ったよりきれいにできたかな。

講師：木戸 三智子 先生

いいたて村 裁縫教室







## ポーチ作り

2019年10月7日(月)

今回は村の成人を迎える方たちへ贈るポーチ作りです。  
支援の方から譲り受けた振袖の着物地で作ります。  
表面には柄を活かし、内側の部分を大切な生地を無駄なく、型紙を合わせて断ちます。  
型紙に合わせて縫しろなどを付け、縫っていきます。  
みなさんで手分けして進めていきます。

「素敵な柄を活かすにはこうかしら？」  
「もう少しずらした方が…」  
などと話し合いながら進めていました。

あと2回で仕上げていく予定です。

### スタッフの声

誰かに贈るとなるといつも以上に熱が入ります。  
素敵な着物地がたくさんあっているも悩みます。

### 参加者の声

若い人に使ってもらえるものにしたいし、贈り物なので気合が入りました。

講師：木戸 三智子 先生

いいたて村 裁縫教室



いいたて村 裁縫教室



## 視察研修

### 一般社団法人 WATALIS

2019年12月3日（火）

宮城県亶理郡亶理町

これからの裁縫科の取り組みにも参考にしたいと視察研修をしてきました！

厚い歓迎を受け、とても有意義な時間を過ごすことができました。

裁縫科の活動にどう活かすか、これからの考えるきっかけとなりそうです。

以下、WATALIS さんのご紹介です。

私たちの町、宮城県南部に位置する亶理町は先の震災により、甚大な被害を被りました。

ことに海岸地域の家々はすべて津波により失われてしまいました。

多くの人々が仮設住宅などでの不自由な暮らしを余儀なくされているなかで、

私たちは手仕事によるものづくりを通して、古き良き習わしや感謝の心をかたちにし、町の復興を願うあらたな仲間とのコミュニティーを生み出そうと活動し始めました。

オンラインショップや企業とのコラボや海外への販売も手がけています。

<https://watalis.com>





## 干支飾り（ねずみ）作り

2019年12月9日（月）

今回は今年最後の裁縫科。恒例になった干支飾り作りです。  
今日は忘年会も兼ねて農家レストラン「気まぐれ茶屋ちえこ」  
でお昼をみんなで楽しくいただきました。  
ちえこさんの料理と楽しいおしゃべりと成人を迎える方に贈る  
ポーチも  
「イイタネちゃん」のタグもついて仕上がったポーチを  
どのようなメッセージを入れて贈るかなど話し合いました。

### スタッフの声

作業がどんどん早くなっていくお母さんたち、あつという間に  
干支飾りが出来上がっていきました。手わざがすごいです。

### 参加者の声

毎年楽しみにしている干支飾り作り、これを作ると新しい年を  
迎える心の準備をする気持ちになれます。

講師：木戸 三智子 先生

いいたて村 裁縫教室





## 針山作り

2020年1月24日(金)

今期最後の裁縫科です。

いつも使っている「針山」作りをしました。

帯揚げの生地を使って、絞りが伸びてこないように裏に芯を貼り、丸く切った生地を縫い縮め、わたを入れ、各自持ってきた容器に糊で固定し、飾りの共布でお花の飾りを作り、糊で固定し、あとは思い思いの飾り付けをして仕上げました。

### スタッフの声

これからの手仕事が増えるような針山ができました。

中綿も入れすぎてしまわないように。

### 参加者の声

今日はグラスを使ったけど、家のかわいい容器で作ってみたい。

講師：木戸 三智子 先生

いいたて村 裁縫教室



いいたて村裁縫教室

